



## 答え合わせ・解説

問1	答え 3 生糸	1929年の世界恐慌が発生すると、最大の貿易相手国であったアメリカの景気が急速に悪化しました。その結果、贅沢品であった絹製品の売れ行きが止まり、日本の主要輸出品である生糸の価格が記録的な暴落を見せました。
問2	答え 4 大政翼賛会	近衛文麿首相の呼びかけにより、すべての政党が解散して大政翼賛会が結成されました。これにより「挙国一致」の体制が作られ、国民は戦争遂行のために動員されることとなりました。
問3	答え 1 戦間期	この時期は、平和を求める国際協調の動きと、世界恐慌をきっかけとしたブロック経済化やファシズムの台頭という、激動の二面性を持っています。日本においても、大正デモクラシーから昭和の戦時体制へと移行する極めて重要な時期にあたります。
問4	答え 4 ソ連	ソ連は資本主義とは異なる、生産手段を国が所有する社会主義体制をとりました。特に、国家が生産量や資源配分を決定する「計画経済」を導入しました。これにより、世界恐慌の影響をほとんど受けずに、急速な工業化と軍事力の強化を実現しました。
問5	答え 1 ローズベルト	フランクリン・ローズベルト大統領は、1933年に就任すると「ニューディール政策」を打ち出しました。政府が経済に積極的に介入し、大規模なダム建設などの公共事業で失業者を雇い、労働者の権利保護などを進めました。この政策は、国家が経済活動を調整するという新しい手法でした。
問6	答え 1 ブロック経済圏	イギリスやフランスなどの植民地を多く持つ国々は、本国と植民地を結びつけて排他的な市場を作る「ブロック経済圏」を形成しました。域内では関税を低くして貿易を促進する一方、域外からの輸入品には高い関税をかけて排除することで、経済を維持しようとしていました。
問7	答え 4 1945年7月	1945年7月、米・英・中の首脳がドイツのポツダムに集まり、日本に対して無条件降伏と民主主義の復活などを求める「ポツダム宣言」を発表しました。
問8	答え 3 学童疎開	1944年から本格的に実施され、縁故疎開ができない都市部の小学生たちは、学校単位で寺院や旅館などに集団で生活する「学童疎開」を行いました。
問9	答え 3 盧溝橋事件	1937年7月7日、北京郊外の盧溝橋付近で、演習中だった日本軍の銃声が響き、中国軍との間で小規模な戦闘が勃発しました。この事件をきっかけに、日本政府は現地の軍隊を増派し、紛争は局地的な衝突から日中戦争という本格的な軍事衝突へと拡大していきました。
問10	答え 1 戦時体制	戦時体制とは、国家が経済・産業・国民の生活を直接管理・統制する仕組みです。物資は軍事用に優先配分され、国民の言論や行動も厳しく制限されました。
問11	答え 4 1945年5月	1945年5月、ドイツは連合国に対して無条件降伏しました。これによりヨーロッパにおける戦いが終わりを迎えました。
問12	答え 1 イギリス	しかし、ドイツがポーランドへの侵攻を断行したことで、両国はドイツの武力拡大をこれ以上許さないと判断し、1939年9月に宣戦布告しました。これにより第二次世界大戦の戦端が開かれました。
問13	答え 1 犬養毅	憲政の常道を守り、政党政治を維持しようとした政治家です。しかし、軍部や右翼勢力からは、強硬な外交姿勢を批判されることがありました。1932年5月15日、青年将校らによって首相官邸で襲撃され、最期まで平和的な解決を模索しましたが、暗殺されました。
問14	答え 4 日独伊三国同盟	1940年に結ばれたこの同盟は、三カ国の連携を強化することを目的としていました。これにより、日本は欧米諸国との対立をさらに深めることとなりました。
問15	答え 1 1932年	1932年5月15日、海軍の青年将校らが当時の首相であった犬養毅を官邸で襲撃・暗殺しました。この事件により、政党政治は事実上の終わりを迎えました。